

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋栄子			

講義概要	<p>子どもが親から離れて社会の中で生きていくためには、しっかりしたコミュニケーション能力を育てておくなければならない。その援助をするために、本科目では「子どもはどのようにして言葉を獲得していくのか」、また「それを支える保育者はどのような環境を用意し、どのようにかかわっていくのか」ということについて学習していく。</p> <p>授業は毎回、テキストの内容を学生たちが発表していく形式で進める。その中で、学生たちがインターンシップ先の職場で実際に体験した事例なども取り入れながら、生の子どもの言葉に触れ、子どもが人の話を聴いたり、言葉で表現したりする力を育てるための指導法も学習していく。</p>
------	--

授業計画	<p>1 学習の前に1 保育内容「言葉」を学ぶ：オリエンテーション。 日本語プレースメントテスト</p> <p>学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：「言葉をめぐるワークショップ」担当部分の発表準備</p> <p>2 学習の前に2 言葉をめぐるワークショップ</p> <p>学習課題 復習：「言葉をめぐるワークショップ」全体の見直し 予習：「言葉の育つ道すじ」担当部分の発表準備</p> <p>3 言葉の育ちと保育1 言葉の育つ道すじ</p> <p>学習課題 復習：「言葉の育つ道すじ」全体の見直し 予習：「言葉の前の言葉」担当部分の発表準備</p> <p>4 言葉の育ちと保育2 言葉の前の言葉</p> <p>学習課題 復習：「言葉の前の言葉」全体の見直し 予習：「1つの言葉で」担当部分の発表準備</p> <p>5 言葉の育ちと保育3 1つの言葉で</p> <p>学習課題 復習：「1つの言葉で」全体の見直し 予習：「人とつながる言葉（1）」担当部分の発表準備</p> <p>6 言葉の育ちと保育4 人とつながる言葉（1）</p> <p>学習課題 復習：「人とつながる言葉（1）」全体の見直し 予習：「人とつながる言葉（2）」担当部分の発表準備</p> <p>7 言葉の育ちと保育5 人とつながる言葉（2）</p> <p>学習課題 復習：「人とつながる言葉（2）」全体の見直し 予習：「人とつながる言葉（3）」担当部分の発表準備</p> <p>8 言葉の育ちと保育6 人とつながる言葉（3）</p> <p>学習課題 復習：「人とつながる言葉（3）」全体の見直し 予習：「言葉で考える」担当部分の発表準備</p> <p>9 言葉の育ちと保育7 言葉で考える</p> <p>学習課題 復習：「言葉で考える」全体の見直し 予習：「言葉で表現する：遊びから生まれる表現」担当部分の発表準備</p> <p>10 言葉の育ちと保育8 言葉で表現する：遊びから生まれる表現</p> <p>学習課題 復習：「言葉で表現する：遊びから生まれる表現」全体の見直し 予習：「言葉でのかかわりに配慮を必要とする子ども」担当部分の発表準備</p> <p>11 言葉の育ちと保育9 言葉でのかかわりに配慮を必要とする子ども</p> <p>学習課題 復習：「言葉でのかかわりに配慮を必要とする子ども」全体の見直し 予習：「言葉をめぐる相談の実際と対応」担当部分の発表準備</p> <p>12 言葉の育ちと保育10 言葉をめぐる相談の実際と対応</p>
------	--

	<p>学習課題 復習：「言葉をめぐる相談の実際と対応」全体の見直し 予習：「幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域『言葉』」担当部分の発表準備</p> <p>1 3 言葉の育ちを考える背景1 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「言葉」</p> <p>学習課題 復習：「幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域『言葉』」全体の見直し 予習：「児童文化財で広がる世界」担当部分の発表準備</p> <p>1 4 言葉の育ちを考える背景2 児童文化財で広がる世界</p> <p>学習課題 復習：「児童文化財で広がる世界」全体の見直し 予習：「子どもの言葉に心を寄せて」担当部分の発表準備</p> <p>1 5 言葉の育ちを考える背景3 子どもの言葉に心を寄せて プレースメントテスト</p> <p>学習課題 復習：「子どもの言葉に心を寄せて」全体の見直し プレースメントテストでできなかった部分の見直し 予習：課題レポートの準備</p>																						
授業形態	演習																						
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価の観点</th> <th>評価手段・方法</th> <th>評価比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①関心・意欲 態度</td> <td>子どもと保育者の対人関係構築としての言葉の意義を理解する。</td> <td>授業態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断</td> <td>子どもの言葉の獲得と発達の段階との関を理解する。</td> <td>レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③技能・表現</td> <td rowspan="2">子どもの言葉を育てる環境づくりの方法を理解する。 子どもの言葉を育てる活動の指導法を習得する。</td> <td>授業態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td>ヒトの言語の基本的特性を修得する。</td> <td>レポート</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table>		評価の観点	評価手段・方法	評価比率	①関心・意欲 態度	子どもと保育者の対人関係構築としての言葉の意義を理解する。	授業態度	20%	②思考・判断	子どもの言葉の獲得と発達の段階との関を理解する。	レポート	20%	③技能・表現	子どもの言葉を育てる環境づくりの方法を理解する。 子どもの言葉を育てる活動の指導法を習得する。	授業態度	20%	レポート	20%	④知識・理解	ヒトの言語の基本的特性を修得する。	レポート	20%
	評価の観点	評価手段・方法	評価比率																				
①関心・意欲 態度	子どもと保育者の対人関係構築としての言葉の意義を理解する。	授業態度	20%																				
②思考・判断	子どもの言葉の獲得と発達の段階との関を理解する。	レポート	20%																				
③技能・表現	子どもの言葉を育てる環境づくりの方法を理解する。 子どもの言葉を育てる活動の指導法を習得する。	授業態度	20%																				
		レポート	20%																				
④知識・理解	ヒトの言語の基本的特性を修得する。	レポート	20%																				
教科書・参考書	テキスト：『演習保育内容言葉』戸田雅美編著 2010 建帛社 参考書：随時指示する。																						
履修条件																							
履修上の注意	次回の授業範囲（特にテキストの事例部分）を予習し、わかりやすい発表ができるようにしておくこと。																						
オフィスアワー	授業の前後で対応します。																						
備考・メッセージ																							